

3号議案 令和元年度事業計画

1. 事業方針

我々の上部団体である、公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会（JMSCA）2019年度事業方針に協力し、先鋭的な登山と健康志向の登山、スポーツクライミングのトップ選手の育成と底辺の拡大という、登山とスポーツクライミングにおけるそれぞれの両極を融合させながら、会員ならびに一般県民が山岳とスポーツクライミングの豊かな文化を享受できるよう努力する。

（参考：JMSCA2019年度事業方針）

本協会は、本来わが国における登山界の統括事業を行い、これを代表する団体として安全登山を第一に山の環境と文化に配慮した登山、スポーツクライミング及び山岳スポーツの普及振興を図ることを活動の原点としている。登山においては、先鋭的な登山と健康志向の登山、スポーツクライミングにおいてはオリンピックメダルを目指すトップ選手の育成と底辺の拡大を目指す指導者層の充実、これらを如何に融合していくかが課題となる。誰もがこれらの文化を豊かに享受するために、さらに遭難減、オリンピックメダル獲得に向け努力する。

2. 活動方針

（1）スポーツクライミングの強化、PR

国体競技を運営する山岳・スポーツクライミング団体として、スポーツクライミングの強化と競技自体のPRに努める。

（2）県民ハイキングの実施

「県民ハイキング」活動を通して、加盟団体の活性化を図るとともに、一般登山愛好家に対して個人会員等での当連盟への加入を勧め、安全登山を指導し、その普及に努める。

（3）安定した財政基盤を目指す

自主財源の確保と経費節約の推進を図る。賛助会員を募るほか、各部門で実施する事業が単独で黒字となるよう、参加者の増加に努める。

（4）その他

山岳共済の加入促進

「遭難減」対策に引き続き取り組むとともに、広く山岳共済への加入促進に努める。

山岳・スポーツクライミング写真展の開催

傘下団体であった「ひこばえ」が解散するに当たり、同会が毎年開催していた写真展を当連盟で引き継ぎ、当連盟会員に広く参加を求め実施する。

（個別の事業は、別紙：2019（平成31/令和元）年度 事業計画 のとおり）